

「M 情報デスク」サポート団体
 救う会大阪 NO! 民主桜組
 米国に原爆投下謝罪を求める会
 大阪の公教育を考える会
 スパイ防止法の制定を求める会
 外国人参政権に反対する会・関西
 日教組の違法行為を告発する市民の会
 竹島を奪還する会・関西
 靖国神社に眠る御霊に感謝する会

MASUKI INFO. DESK FIGHTING REPORT

関西の
政治・経済・社会
の
最新情報

No. 141
 【発行・編集】
 MASUKI 情報デスク
 増木直美
 大阪府豊中市上新田 2-6-25-113
 TEL 090-3621-1509
 FAX 06-6835-0974
<http://mid.parfe.jp/>
 mid@jewel.ocn.ne.jp

小正月までにお伊勢さん参り



我が家では小正月までに毎年お伊勢さんにお参りするのが習慣になっていました。
 宇治橋を渡って何時も見える大きな日の丸の旗が今日も翻っているのを見てツクツク日本の国旗は世界一だと満足。てっきり国旗は五十鈴川の右岸にあるモノだと思っていたのが帰りに宇治橋の上から見たら写真のように左岸にポールがあるのですね。お伊勢さんには何十回も来ているか？ 今日初めて知りました。恥ずかしい！ それにしてもこの国旗は迫力がありますね。なにしろポールが高いのです。川向こうにあるのにこちら側にあると錯覚するくらいですから（本当は私がボケていたのですが）。
 平日の午後ですから参道は空いているように見えたが、本殿（正殿）に近づくともやほり多くの参拝者が来ておられました。帰りにおかげ横町で赤福ぜんざいを食べて元来たルートを家まで戻りました。
 京都北山 中村重行

仁徳天皇古瓦葺原中陵の破壊について

衆議院議員 西村真悟先生のメルマガより要点抜粋

2007 平成 25 年 1 月 6 日 (日)

私が早朝、家の近くの仁徳天皇陵に参拝する。この度、その仁徳天皇陵が、こともあろうに宮内庁によって破壊されつつあることを記しておかねばならない。
 そのため、まず最初に、天皇陵は、「遺跡」ではなく、現在の我が国の運命に影響を与える歴代天皇の陵墓であることを確認しておかねばならない。

そこで、我が郷里である堺市に所在する第十六代天皇である仁徳天皇古瓦葺原中陵であるが、墳丘を三重の周濠が囲む日本最大の前方後円墳で陵墓域は東西の長さ約 300 南北の長さ約 70m であり樹木が生い茂り広大な森となっている。その陵墓の周囲は、黒いスチール製の柵で囲まれており、南側正面だけが幅二十メートルほど中央の墳丘に向かって開かれており、訪れる人々は、この正面から陵墓域に入って参拝または見学ができるようになっている。そして、この参拝域の東側には幅約 30m 奥行き約 30m ほどの木造平屋建ての「宮内庁書陵部古市監区百舌鳥部事務所」が建てられている。

さて、異変は昨年の秋の末より起こされていた。まず陵墓内の土手の西側と東側の樹木が伐採された。そして、陵墓内の土手の西側に長さ約 30m ほどのプレハブの住宅が建てられた。さらに総選挙終了後に気付けば、事務所の東側は、幅約 30m 長さは周濠に沿って約 30m ほどの鉄板のフェンスで囲まれている。私は隙間からその中を覗いた。すると、既に陵墓の地面は掘り起こされ、そこに新築の建



物の基礎と思われるコンクリートが流し込まれている。即ち、宮内庁は、仁徳天皇陵訪問者には、「事務所改築工事」を行うと表示しながら、実際は陵墓内の約千坪という広大な地面を「開発地域」とする「開発」を開始し、事務所の「改築」ではない「新築」を行おうとしているのだ。

これは、陵墓を保存し維持し管理することを職務とする宮内庁による事務所改築に名を借りた陵墓の「破壊」である。天皇陵の陵墓域は、荒地地や原野ではない。陵墓を「開発」するなど論外、もってのほかだ。

宮内庁は、長年、広大な陵墓を管理する果てに、そこを自分たちが何でも出来る自分たちの「聖域」と勘違いしてしまったのだ。

才能人も黙っちゃいない

金八先生こと武田鉄也

★韓国の文化や歴史を批判★

歌手・俳優の武田鉄矢さん (63) のラジオ番組での発言が、インターネット上で話題になっている。主に韓国の文化や歴史、そして日本の外交的な対応について批判的な発言をしたものだ。

話題となっているのは、文化放送で平日の時から放送されているラジオ番組「吉田照美 ソコダイジナト」内の 10 分間のコーナー「武田鉄矢・今朝の三枚おろし」だ。

2012 年 12 月 24 日からの 1 週間、武田さんは台湾人評論家の黄文雄氏の著書「日本人はなぜ中国人、韓国人とこれほどまで違うのか」をテーマにトークを繰り広げた。

黄氏は中国と韓国に批判的な立場で知られる。1 日目、武田さんは 12 年の中国の反日暴動や竹島問題で「日本人として魂が揺れた」「日本人は変わったと思う」と話し、「我々は戦後、戦争のおおびを延々としなければって教育も受けた。それが、中韓に対していくらかおびして同じじゃないか? (という考えに変わった)」

「中国と韓国は日本を許す気はない。被害を受けた国は 200 年忘れないという。経済援助や橋を作るなどしたって、許してもらえないわけがない」との考えを明かした。2 日目からは、「朝鮮半島は何かあるたびに、恨み、憎しみを忘れないために記念碑を建てる」「韓国は弱者を徹底的にいじめる。弱みを攻めるのが外交の手段」

「勝つためには何でもやる」など、黄氏の韓国に関する批判的な記述を引用した。また、EPA が記録している過去 100 年のワールドカップにおける 10 大誤審のうち 2 つを 2002 年の韓国戦が占めていることについて

「すごいですよ。偉い! 何が偉いのかわからないけど」と皮肉っぽく語った。ほかにも、日韓併合を推進していた韓国の政治家の子孫が、04 年になって親日罪で財産没収の刑を受けた、韓国は日本を許してしまうと韓国ではなくなってしまう、といった黄氏の韓国に対する見方を紹介した上で「韓国の恨 (はん) の思想がすごいですねえ」と感想を述べていた。(Jelma のブログより)

エジプトのオバサン、フィフィ

「たかり」と言われても当然」 在日外国人の生活保護問題、タレント・フィフィの発言で物議 2012 年 11 月 11 日 JBB TODAY

外国人タレントのフィフィが、在日外国人の生活保護受給問題について発した「外国人が生活保護を受けること自体が不自然」とのツイートが、ネット上で話題となっている。

国民の大きな関心を集め続けている生活保護問題。先日には、厚生労働省が生活保護を受給している在日外国人の国民年金保険を本人申請によって全額免除にする方針に決定したとの報道を受け、お笑い芸人のガリガリカリクソンが「お金無くて生活困るなら来なけりゃいいのに。自分の国にケツ拭いてもらえ

よ」などとツイートしたことで物議を醸したが、今度は自身もその当事者の在日外国人であるフィフィによる発言とあって関心を集めている。

フィフィは 30 日に、「在日外国人の 1 人として言わせていただきます。外国人が生活保護を受けること自体が不自然です。自国から拒否されてるわけが無いならなぜ愛する母国に帰らないのか?」とツイート。さらに続けて、「恩恵を受けているなら、文句を言つな。文句を言いながらおねだりすれば、それは、たかり、と言われても当然。プライドがあるなら自らを偽るな」と持論を展開した。先のツイートはすでに 100 件以上リツイートされ、掲示板サイトなどでも取り上げられると議論に発展。「これは正論だな」「ガチだな。支持するわ」「でも情けないよね。こういうことは日本人が言わないといけないことなのに」などと賛同する声が多数上がった。

また、フィフィはこうした生活保護問題などをめぐって日本人と在日外国人との間に生じる摩擦について、「まともな外国人は、日本と母国の架け橋としてこの国で日本人との共生に努めています」と、在日外国人の立場から主張。さらに、「その気が無いなら帰ればいいんです。その怠慢さで迷惑するのは、日本人だけではなく、自国民です。自国民に厄介に思われたら、帰る場所を失い兼ねない。それとも意図的に摩擦を起こして優遇を求めているのかな?」と続けた。

なお、フィフィは母国エジプトの歴史を例に挙げ、「国民を逆差別する政府」「外面良くて、外国人優遇して、国民をないがしろにしてきたから倒されちゃった政府」との失敗例も紹介して警鐘を鳴らし、問題に対して関心を強く持つことを促している。

「ASB 河西の“手づら”写真集は児童ポルノか……フィフィが警告「国際問題になってもおかしくない」」

2013 年 1 月 11 日 FBB TODAY
過激な“手づら”写真で話題となっている ASB48・河西智美の写真集「とものこと、好き?」(2 月 4 日発売、講談社) について、外国人タレントのフィフィが「国際問題になってもおかしくないレベル」などと警告している。

同写真集は、一糸まとわぬ河西の胸を、背後から白人少年が手を回して隠すという衝撃的な写真を表紙に採用して話題となっている。これについてフィフィは、自身の「Twitter」を通じて、「この様なコンテンツに子供を巻き込むとか……」「日本大丈夫か? モラルやばいぞ」と苦言。さらに、「あえて外国人らしき子供でこんなポーズの写真を撮るなんて国際問題になってもおかしくない」と警告した。

同写真集をめぐっては、誌面で告知を予定していたマンガ週刊誌「週刊ヤングマガジン」(講談社) が 11 日に公式サイト上で、「11 月 22 日(土) 発売予定のヤングマガジン第 1 号、『河西智美写真集』告知ページにおいて不適切な表現がありました」として、同誌最新号の発売延期を発表。また、一部メディアによると、講談社が同写真集の表紙写真も差し替えることを決めたと報じるなど、物議を醸している。

フィフィはさらに「Twitter」上で「児童買春、児童ポルノに係る行為等の処罰及び児童の保護等に関する法律」について触れ、「ちなみに児童に乳房を触らせる行為は法に触れるらしい。以前、児童に乳房を触らせたカップルが逮捕された事例がある」とコメントしている。

シナ人に屈したマハティール

主権回復を目指す会 元東京大学教授 酒井信彦

朝日新聞は昨年の中共における虐日国家テロの勃発以後、頻りに中共擁護の論陣を展開しているが、それが最もよく表れているのが、オビニオン欄の長文のインタビュウであろう。

特に外国人を起用して、いかにも客観性があるように演出するのが、なかなか気の利いた手法と言える。つい最近1月15日にそこに出てきたのが、元マレーシア首相のマハティールである。

題して「ルックイーストはいま」。

正式な名前は、マハティール・ビン・モハマドと言いたい。聞き手は機動特派員・柴田直治であり、マハティールの著書や発言に基づいて質問している。

このインタビュウのポイントは二つあり、それは二つの見出しに端的に表現されている。

一つは「教訓は日本の過ち 自らの価値をすて 欧米に迎合した」。

もう一つが

「中国は脅威ではない 東洋の事は東洋で問題解決すべきだ」である。

つまり一つは経済の問題、もう一つが外交・安保の問題で、その二つをアジアの視点で考えなければならぬ、と言うのがマハティール発言の基調である。

経済の問題については、次のように言う。

「日本が苦境にあるのは、経済大国への道を切り開いた自らの価値を捨て、欧米に迎合したからだ。例えば終身雇用制などに重きを置かなくなった。」

政府の指導や民間企業との協力関係はいまや犯罪視される」

「われわれが見習ったのは、現在の日本がやっていることではない。いまはあなただちの犯した過ちを繰り返さないようにと学んでいる」

「確かにグローバリゼーションはやってきた。それは欧米各国のアイデアであり彼らの利益のために考えだされた。新たなシステムを採用すれば、混乱はつきものだ。」

日本は国内の状況を斟酌せずに受け入れた。それまでのやり方とグローバリゼーションを調和させることに失敗したのだ」

しかし日本を批判するあまり、韓国の方が「古い社会システムと労働倫理」が残っているから、日本より学ぶべき点が多いと言うのは、明らかにウソだろうと思う。

韓国の経済的好調と言うものは、日本よりも却って徹底的に欧米の価値観を受け入れたからではないのか。

なお経済問題について、特に若い人々に知っておいてもらいたいのは、このグローバリゼーションを「国際化」と言っ

て、盛んにもてはやしたのは、外ならぬ朝日新聞だったことである。

朝日新聞は常に戦後民主主義の側に立ち、アメリカによる戦後改革の延長としての、アメリカの対日要求の手先を務めたからである。

柴田記者は、その点については全く触れていない。

もう一つの外交・安保問題は、経済問題よりはるかに重要である。以下、柴田記者とマハティールとの、特に重要な問答を紹介する。

柴田「中国はいまやルックイーストの対象であり、脅威ではないと発言されています。日本や他の近隣国の指導者とは見方が違うようです。」

マハティール「過去2千年、中国がマレーシアを侵略したことはない。ベトナムに拡張を試みたが、あきらめた。日本に攻め込もうとしたのは、モンゴル高原に発する『元』だ。われわれを植民地にした西欧に比べれば中国が過去、好戦的だったとは言えない。市場経済の時代に、中国が日本をはじめ、周辺国を侵略する意図を持つとは思えない。」

柴田「日本では自民党が選挙中、自衛隊の国防軍化や尖閣諸島への公務員常駐などの政策を掲げました。」

マハティール「実行すれば、中国はこれまでに軍備を増強し、対抗しようとするだろう。お互いの挑発がエスカレートし、ついには戦闘に至るかもしれない。賢明ではない。」

柴田「日本は経済的に自信を喪失し、その反動として右傾化が進んでいるとの指摘があります。」

マハティール「危険なことだ。日本が自信を取り戻すのは軍事ではなく、経済力を回復させるしかない。」

つまりマハティールは、現実存在して

ほとんど拡大する、中共の軍事的脅威を、全く見ようとしない。そして、その軍事的脅威への日本の最低限の対応の方を危険視する。まさに朝日が求めているものに、ドンピシャリの発言である。日本が軍備を増強すれば、中共はそれに刺激されて増強し、軍拡のエスカレートになると言うの

は、朝日新聞がずっとやって来た巨大なマヤカシである。日本が少しも軍拡をしないのに、中共は一方的に凄まじい軍備増強に邁進してきたのが、最近の歴史ではないか。完全に破産したその論法を、マハティールはまだ使おうとしている。ただしマハティールの発言で、もっとも愚かしいところは、「過去2千年、中国がマレーシアを侵略したことはない。」「われわれを植民地にした西欧に比べれば中国が過去、好戦的だったとは言えない。」

と言っている部分である。過去に侵略しなかったとしても今後いくらでも侵略できることには、全く頭が回らないらしい。

それだけではない。実はマレーシアは、現実にはシナ人によって大規模に侵略されているのである。私が以前から主張しているように、侵略には軍事的侵略だけでなく、人口的な侵略というものもある。マハティールは、

「われわれを植民地にした西欧」と言っているが、その植民地支配者・イギリス人の手先となって、マレー人を搾取しにくったのは、ほかならぬシナ人そのものである。第二次大戦後に植民地はなくなつて、イギリス人は出て行ったが、手先であったシナ人はそのまま居座つたのである。かくてシナ人はマレーシア人口の四分の一を占めている。経済的には完全に実験を握っているから、これこそまさに実質的な侵略状態ではないか。

しかしマハティールは、このシナ人による侵略状態には目を瞑り、中共による現実的な軍事的脅威すら無視しようとする。つまりシナ人に完全に屈服しているのである。昔はもっともな人間に見えたが、すいぶんと駄目になるものである。

徹底的に道徳教育―議会報告

御所市 (奈良) 議会議員 杉 本 延 博

僭越ですが、「ありきたり」のことをいかにしつこくやるか。それがもっとも大事なことだと思います。 増木

昨年 6 月議会での一般質問の議事録『道徳教育について』の原稿を送ります。ありきたりの内容かも知れませんが掲載いただけたら幸甚です。 御所市議 杉本延博

平成 24 年 9 月 御所市 (奈良県) 定例会 6 月 12 日 13 号

◆ 4 番 (杉本延博) 続きまして、次は道徳教育についてお尋ねいたします。

滋賀県大津市で中学 2 年生の男子生徒がいじめを苦に自殺するという痛ましい事件が発生して、連日マスコミで報道されるなど国民の間でも関心が高まっています。教育委員会、教育現場の隠ぺい体質、対策のまずさが露見して、教育長が襲撃される事件にまで発展したことは記憶に新しいところでもあります。今回の事件では、自殺の練習をさせるなど信じられないような実態がわかり、世間に強い衝撃を与えました。いじめの実態、形態も陰湿さ、残酷さを増しているように思えてなりません。

いじめだけではなく、凶悪化する今までなかったような犯罪の低年齢化が社会問題となっています。なぜこのようなことが発生するのでしょうか。教育現場もそうですが、家庭教育にも問題があると思います。あくまでも道徳教育の基本は家庭であ

ると考えております。子供だけではなく、大人にも児童虐待、DV、モンスターペアレンツ、規範意識の低下、倫理観の喪失や社会性の不足などさまざまな問題を抱えております。なぜこのようなことになったのでしょうか。

私は、今までの道徳教育の欠如が根本的な原因だと考えます。権利ばかり要求する履き違えた自由、自分さえよければよい、甘いばかりで厳しさが無いなど上げ出したら切りがないくらいであります。

戦後、先人のご尽力により目覚ましい経済発展を遂げたことは歴史的な事実であります。しかし、経済発展の裏で私にとり最も大事な心というものを喪失したことが心の荒廃、道徳の低下など、昨今の情勢に現出しているのではないのでしょうか。

自由には責任があり、権利には義務があります。また自分と他人、自分と家族、自分とふるさと、自分と国の間柄、関係といいますが役割と義務などもあります。人格形成、公共心の育成など、果たして今までの道徳教育でどのような命題をしっかりと教えてきたのでしょうか。大いに疑問府がつくのではないのでしょうか。大人も子供も日本人全体が道徳心、道義心というものをいま一度見直し、道徳教育の重要性に気づかなければならない時期に来ているのではないかと思います。

改正教育基本法には道徳心を養うと明記されており、第 2 条 1 に幅広い知

識と教養を身につけ、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことと明記されています。また、道徳教育の視点を 4 つにまとめて整理されています。

中学校道徳学習指導要領の中からピックアップしてみますと、1 つ目は、主として自分自身に関することとして、望ましい生活習慣、強い意志、責任などが指導項目であります。2 つ目は、主として他人とのかわりに関することとして、礼儀、博愛、友情、信頼、自他の尊重、寛容、謙虚、感謝などが指導項目であります。3 つ目は、主として自然や崇高なもののかかわりに関することとして、生命尊重、自然愛護、畏敬の念、誇りなどが指導項目に挙げられております。4 つ目は、主として集団や社会とのかわりに関することとして、公德心、正義、公正、公平、集団生活の向上、役割と責任、勤労、奉仕、公共の福祉、父母への敬愛、孝行、自愛、郷土愛、先人への感謝、愛国心、伝統文化の承継や文化の創造などが指導項目であります。

学校教育法施行規則によりますと、週 1 時間、年間 35 時間が義務づけられております。しかし、実際に道徳の時間と道徳以外のことに使用しているというところも問題になっております。

さて、日本人の道徳性の高さは世界からも称賛されるほど高い歴史性、民族性を持っております。例えば、イギリスの女性旅行家、イザベラバード女史が明治時代に東北、関西を旅行して日本奥地紀行を書きましたが、その中で当時の日本を、「私はこれから奥地や蝦夷を 1200 マイルにわたって旅をしたが、全く安全で、しかも心配もなかった。世界中で日本ほど夫人が危険にも無作法な目にも

遭わず、全く安全に旅行できる国はないと信じている」と記しております。

また、大正 8 年に日本が人種の差別撤廃提案を世界で初めて国際連盟に提出しました。結果はイギリス、アメリカなどが強行に反対し、当時のウッドロウ・ウィルソン米大統領の裁定で否決されました。国際会議において人種差別撤廃を明確に主張したのは、日本が世界で初めての歴史を持っています。などなど、ほかにも紹介したい道徳心、道義心が高い日本の歴史が多数ありますがこれは日本人として誇るべき歴史的事実なのであります。

さて、昨年発生しました東北大震災後のモラルの高さを世界から称賛されたことは、今も私たち一人一人の心に残っていることだと思います。今なお、私たち日本民族の DNA の中に道徳心、公共心の高さがあったことに誇りを感じたわけであります。

以上、るる意見を、私なりの道徳教育に対する思いを述べてまいりましたが、結論といたしましては、いじめ問題を解決する一つの方法は道徳教育ではないのかと考えた次第であります。

そこで、お尋ねしてまいります。教育長の道徳教育に対する見解を述べていただきたいと思います。また、我が市の道徳教育の現状についてお答えいただきたいと思います。

◎教育長 (上田貞夫) 道徳教育は豊かな心を持ち、人間としての生き方の自覚を促し、道徳性を育成することをねらいとする教育活動でございます。社会全体の風潮は、社会の一員としての自覚や周りへの配慮、思いやりの心が希薄になってきています。具体的には、規範意識や生命尊重の意識の低下、積極的に社会

参加しようとする意識の希薄化など、道徳的な問題点、課題が現代社会のいろいろな場面に幾つもあらわれてきております。また、このような社会全体のモラルの低下が、学校現場においても自他ともに生命や人権をないがしろにするような、人間らしい心を喪失したいじめ問題や自殺問題にあらわれています。

学校における道徳教育は、すべての教育活動の基盤として位置づけ、子供たちの基本的な生活習慣を確立させるとともに、社会生活を送る上で、人間として持つべき規範意識を発達段階に応じた指導や体験を通して確実に身につけさせることが重要であると考えております。また、人間としての尊厳、自他の生命の尊重や倫理観などの道徳性を養うには、学校のみならず地域や家庭の中で大人が子供を目の前にして、社会のルールの意義やそれらを遵守することを身をもって示すことが極めて重要なことであると考えます。学校、地域、家庭が一体となって道徳教育を推進していくかなければならないと考えます。

2点目は、小・中学校における道徳教育の現状についてであります。

そもそも、道徳教育は子供たちの意識に切り込んでいく教育であります。その意味で教材や指導内容については、何よりも実践力を高めるための授業の工夫が必要になってまいります。また、各学校が一律同じものを扱うのではなく、子供たちの実態やこれまでの指導の経緯等を踏まえつつ行わなければなりません。そこで、取り扱い教材や学習内容においては、先ほど議員がおっしゃったように道徳教育の4つの視点を根本に据えて、心のノートや文部科学省の読み物資料集などの中から全体構成や相互の関連性と発展性を明確にしなから、子供の発達段階や実態に即した教材

を適切に吟味し、道徳的実践意欲、実践力を高めるものにふさわしいものを用い、より効果的な授業が行われるよう各学校長が責任を持って行っております。以上でございます。

（中 略）

◆4番（杉本延博）

次に、2点目の道徳教育についてお尋ねしたいと思います。

教育長の見解並びに現在の道徳教育の現状というものをるる答弁いただきました。まず、教育長の道徳教育に関する見解なんですけれども、無難な答弁やったと思います。これを実際学校現場でも実践していただきたいと思うんですけれども、私が考えますに、どうしても道徳といえますと戦前の修身、教育勅語といふのを連想されて、戦後タブー視されている部分があるんじゃないかなと思っています。そして、ちょっといろいろ、私自身にもいろいろ勉強させてもらったんですけれども、教育勅語ですとか戦前の修身といふものは戦争につながるとかということ、非常に危険な部分やいうことを僕も学生時代教えられたことを記憶しております。しかし、実際読んでみると、そのギャップというのはすごいありました。言っていることはもう本当に世界共通といえますか、人類普遍の道徳律を315文字の中にうまくまとめられております。例えば、兄弟仲よくして、夫婦信じ合いながら学を修めて徳を積み、そして社会、国、地域のために貢献しましょうという本当にどの国でも通用することがこの教育勅語の中に書かれております。また、修身に関しまして二宮尊徳や野

口英世、そして徳川光圀、水戸黄門さんですけれども、この人らの人物を通してエピソード描きながら、質素、儉約、博愛、そしてまた、優しさ、慈しみ、強さなどさまざまな25項目の徳目に分けて発育段階に応じて修身教科書の中に描かれて、日本人の道徳が描かれております。そうした中、先ほど教育長の見解にもありましたように、そしてまた道徳教科の中にもありますように、本当にこれは古今東西、時代を象徴しているといえますが、時代は変われども言っていることは当たり前のことで同じやということを認識いたしております。

また世界を見ましても、アメリカが80年代にレーガン大統領になりました。その中で真っ先にとり行ったのが道徳教本当に、先ほど申しましたように、この日本の道徳といふのは戦前・戦後通してずっと一貫して、時代は変われども共通いたしておりますので、本当に何としてもこの道徳とかのそのタブーというものを取っ払って、本当に真の日本人としての道徳教育を行っていただきたいと思っております。そして、先ほど壇上から申しましたように、数年前に学習指導要領のほうで改正されまして、その資料として道徳編の改訂要旨というものがございまして、これに沿って再度質問していきたいと思っております。

まず初めに、情報モラルの問題に留意した指導ということが明記されております。この中では、児童の発達の段階や特性などを考慮し、第2に示す道徳の内容との関連を踏まえ、情報モラルに関する指導に留意することと書かれております。本当に今小学生の方や中学生の方、生徒さんが携帯を持っていることがよく見受けられます。メリット、デメリット

分があるんですけれども、メリットとしては部活とかで遅くなったときに家族との連絡がとれる。これは本当にいいことやと思いますけれども、逆にデメリットという部分も考えられると思います。そうした中、例えば成人向けのアダルトコンテンツとかそういうところを見るということもあるんですけれども、そういうやっぱり正しい性教育とか性道徳を育成するためにも、パソコンや携帯の利用ということのモラルの指導をしていかななくてはならないと思うんですけれども、その辺は道徳教育としてどのように扱っているのか、お答えいただきたいと思っております。

◎教育長（上田貞夫） 今情報モラルの件で携帯の話でございましたが、御所市内では携帯は学校に持っていないように指導はしております。それから、パソコン等いろいろなアダルトのところに入ったりとか、非常に危険なサイトに入ったりする場合もあります。そのところは学校のほうでパソコンの授業、あるいは先ほど言いました道徳の時間を利用して、学校のほうではきちんと生徒を指導しております。

◆4番（杉本延博） それなりに指導しているということですね、わかりました。

ちょっと性道徳についてもう1点お伺いしたいんですけれども、今日日本では男女共同参画という政策が進められておりますけれども、この中に隠れてジェンダーフリー教育という、間違った教育が社会問題に数年前になっておりました。例えば、修学旅行行くときに男女同じ部屋にするのをどうするかというアンケートをとったり、また、体育が終わってからの着がえですね、これを同じ部屋でさせるとか、本当にちょっと信じられない過激な暴走した性教育を行われた実態が何件か報告されておって、問題になっておりました。

市内ではもうそんなことないと思うんですけど、そのようなこと過去あったんでしょうか。

◎教育長（上田貞夫） 今ジェンダーという言葉が出てまいりました。男女を言いあらわすのにセックスとあるいはジェンダーという2つの言葉がございいます。生物学的にはセックスということで男女を分けるんですが、今おっしゃったジェンダーというのは、社会的な意味で男女を分けるのにジェンダーという言葉を使います。そのときに、今ジェンダーフリーという言葉をおっしゃいましたが、もう今から10数年前になるんですが、ジェンダーフリーという言葉を使うことは男と女は違いがあるのに同じように扱ってしまう嫌いがあるということ、国のほうからはジェンダーフリーという言葉は使わないようにしようという通達が出ております。なかなか下のほうまでおりてきていないんですけども、私もその方針に従いましてジェンダーという言葉を使っておりますが、ジェンダーフリーという言葉は使っておりません。

私は男女がやっぱり、昔中国のことわざに男女七歳にして席を同じゅうせずという言葉がありました、どうもちよっとこれは行き過ぎかと思うんですが、その信念、根本に流れるところは性の乱れがないようにということだと思います。お互い男女は尊重して生活していくということが大切だと思っております。

で、まかり間違ってもこのようなジェンダー、またはジェンダーフリーという性教育、過激な性教育のこと起こらんように、指導もなかなかおいていないんですよ、教育長、これおいていないんですね。その辺も周知徹底していただきたいと思っております。正しい性道德教育というものをやっていただきたいと思っております。改めてお願いしたいと思っております。続きまして、先ほどから申しております学習指導要領解説の道德編なんですけれども、道德教育の目標というところに、従来の改正される前から、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛し、公共の精神をたつとび、他国を尊重し、国際社会の平和と発展や環境の保全に貢献し云々と書かれております。本当にこの条項が明記されたことにより、本当に正しい道德心といえますか、日本人、また郷土を愛する愛国心を育成するすばらしい条項が盛り込まれたということで僕的にはすごく評価しているんですけども、真っ先にこの中で僕が思いついたのが、去年ずっと1年間通して訴えてまいりました国旗・国歌の問題でございいます。12月議会のときに教育長は答弁の中で、市内で君が代を歌えない実態があった。そこでしっかりと教育課程に従って教えないという形で伝える。この4月に通達したばかりで、まだ学校の中でどの時間で教えているかは把握していません。学校によれば1学期、場合によったら2学期というふうな形で教える場合があるかと思えますと明快に答弁いただいたんですね。この答弁をもう一度読み直してみますと、昨年の12月に私は国旗・国歌の指導について質問をしたんですけども、さかのぼりまして4月ということ

平成23年4月に通達した、校園長会で通達したということやと思うんですけども、それから今までもう1年以上経過しました。卒入学式のほうでは無事国旗も掲げられて国歌も斉唱されました。これはもう十分把握しているんですけども、次の段階として、正しい日本人、また正しい国際理解をする真の国際人に育つためにも国旗・国歌というのはまず一番基本やと思うんですけども、この1年間具体的にしっかりと授業で指導はなされたんでしょうか。その辺答弁いただきたいと思っております。

◎教育長（上田貞夫） 国旗・国歌につきましては、先ほど議員がおっしゃいましたように、当初4月の段階でしっかりと学校の中で指導するようにと、子供たちが歌えないのは指導していないからだというところで、指導するようにということで校長会で伝え実行するようにさせました。凹凸ありますが、ほぼすべての学校で音楽あるいは国語になるかわかりませんが、あるいは卒業式の予行演習になるかわかりませんが、ほぼすべての学校で指導はいたしました。

◆4番（杉本延博） 通達されたんですけど、しっかりとという答弁やったんですけども、それじゃ逆に、教育長のほうに報告は上がってきたんですか。

◎教育長（上田貞夫） きちっとできたということで報告は上がってきております。ただ、強弱はあります。

◆4番（杉本延博） 校歌はしっかりと元気に歌っているんですけども、国歌を歌うとなると本当にシーンとしているんですね。本当に何か歌うこと、黙るところが国歌斉唱なんかと思っている実態をいつも感じております。

今年度、来年度の卒入学式、本当に声を出して元気に歌っていただけるか、指導の成果が一つあらわれると思っております。この辺はしっかりと教育長の答弁信じて、現場で教えたということを信じて注目していきたいと思っております。

続きまして、先ほどから沿って質問いたしております指導要領解説の道德編の中から、教材の開発や活用という場面が明記されているところがあります。ちょっと読ませていただきます。先人の伝記、自然、伝統と文化、スポーツなどを題材とし、児童が感動を覚えるような魅力的な教材の開発や活用を通して云々とあります。その下に、多様な教材を生かした創意工夫ある指導を行うことと明記されているんですけども、先ほど答弁の中で、4つの視点を考慮しながら発育段階に応じて心のノート、文科省の読み物の資料集を利用しながら、先生方の状況に応じて判断されながら使っているという答弁をいただきました。私いろいろ調べています、奈良県のほうで昨年やったと思いますけれども、奈良県内の伝説とか歴史、また道德などを集めた道德資料集をつくって小・中全校に配付したということ聞いておりますけれども、これは実際御所市の道德教育の中で使用されているんでしょうか。

◎教育長（上田貞夫） 道德の資料にはたくさんございます。その授業の中でどの資料を使っているかについては、各担任あるいは各学校に任せております。文科省として道德をこの4つの視点でやりなさいと、ですがそのやり方は、教壇のとり方は子供たちの実態、例えば外国人に対するいじめのあったときには、ちよっとしたまた違った角度で教材を開発してやってみるとかということがありますので、すべての学校でその県の開発した資料を使っている

かどうかについては、私は把握はしておりません。

◆4 番（杉本延博） 文庫省から指導が来る、そして現場の先生に任せる、それは十分わかります。でも、この中間に立つ教育委員会、教育長としてその辺把握する義務ってないんですかね。どうですか。ないですか。

◎教育長（上田貞夫） 私は数学の教員やっておりましたが、教材の進め方については私が自分で考えてやっておりまして。一応教科書の範囲内ですが、例えば方程式やるときにどんな方法で教えるかというのは僕の裁量に任せてもらっておりましてので、自分なりに資料持ってきたり開発してやりましたので、そこそこは教師に任せたいと思います。

◆4 番（杉本延博） 確かに現場というのは一番、第二でわかりやすいんですね。本当に現場の先生の意見、実態一番知っておりますので、現場第一というのはよくわかります。でも、裏を返せば何か丸投げというふうにもとられますよね。教育長も数学の教師やったということで、過去の経験に基づきながら教科書の選択いうこの事例を挙げていただきましたけれども、先ほどの国旗・国歌の問題もありましたので、先ほどの南議員の質問にありましたはじめ問題、そのときそのときに応じて大まかな目標というものを指導することも大事やと思うんですけれどもね。教育長、その辺は道徳教育という中で今こういうこと問題になっているから、こういうことを指導せよということではないんですかね。その辺はどうですか。

◎教育長（上田貞夫） 議員の質問の中にもございましたように、道徳観が低下しているということは、これは私は大きな問題だと思っております。ですから私は、市長もおっしゃっているんですけれども、御所市を好きになる子供、ふるさとを愛する子供、僕はふるさとを愛する子供と言っているんですが、それが一つのテーマでその中で道徳を教えていけばいいという大きな誇りを持っています。具体的にこの教材をこう使いなさい、これをあしなさいと言いますと、ちょっと私も介入し過ぎのような感じがいたします。大きな誇りの中で教諭に任せていきたいと思っています。

◆4 番（杉本延博） よくわかりました。寛容な気持ちを持って現場に任せたいという答弁やと理解いたしました。

先ほどから市長もおっしゃっています、御所市に誇りを持つ、郷土愛の育成、誇りを持つですね。愛するということ、これもしっかりとこの 4 項目の主として集団と社会とかかわりに関することの中に明記されております。郷土愛、先人や高齢者への尊敬や感謝という項目で挙げられております。

先ほどの答弁で教育長はその人物ですね、修身に挙げられていた、時代錯誤という発言が出たんですけれども、僕は決して時代錯誤じゃないと思っております。というのは、この優しさ、慈しみ、強さ、しなやかさ、さまざまな徳目がありますけれども、そのときの人物を通して、エピソードを通して教えるいうことは、昔も今もこれからも変わらないと思うんです。一番よく題材例出されるのが二宮尊徳のことでございます。

先般の議会でも神武天皇、また日本武尊の読本をつくって活用したらどうかという僕質問しました。その中でいろいろ代表例を出したんですけれども、例えば

山口県では吉田松陰。松陰の言葉、格言などを通して勉強する。そして作文を書かせれば、浜松市ですね、賀茂真淵、本居宣長の松阪の一夜、これを取り上げて道徳教育を推進しております。特に浜松市のほうでは戦前の修身教科書をそのまま使って、本居宣長、賀茂真淵の郷土の偉人ということを取り上げて教えています。本当に僕前からこの問題議論しているんですけれども、歴史・伝統を愛し、そしてまた御所市に誇りを持つ、ようわかるんですね、それは気持ち一緒なんです。でも何か僕重要な、一番大事なものは歴史が抜けているんじゃないかなと常々訴えているわけなんですけれどもね。教育長、その辺は何か、歴史ですね、取り上げていくことどうですかね、それは。

◎教育長（上田貞夫） 郷土の歴史的な偉人をとらえて勉強すること、これは大変大いにいいと思います。先ほどおっしゃった、例えば二宮尊徳像でしたら学校に残っておるところもあります。ただ、その像を見ますと、しばを背負って本を読んでいるんですね。確かに昔のいわゆる藩の財政を立て直して、いろんなことをやってこられた立派な方なんです、今の子供たちにその姿を直接話してもついてくるかどうか。やはり教材の開発はその先生、学級担任に任せたいと思います。ただ、学級担任が二宮尊徳のそばで子供たちと草野球しながら、実はこうやねんで、今度の道徳の時間でこの話しましょうかという形は僕はあってもいいと思います。

◆4 番（杉本延博） それだけでありません、この御所市にはすばらしい歴史・伝統・文化があるんですね。私がずっと言っておりますこの神話、神話の中にも因幡の白ウサギという物語ありますよね。これを

取り上げてもしじめの問題解決する策、ポイントは隠されています。

一つ一つこの先人が残してくれたこの教訓というものを真摯に受けとめて、道徳教育に生かしていくべきやと考えております。もうずっと言っているんですけれども、これが本当に一番大事な、僕、道徳教育、また郷土愛の育成に必要なことやと思いますので、これから検討いただきたいと思います。

最後になりましたけれども、これ、鎌倉市の元市会議員の方がつくられているんですけれども、「人として行うべき 15 のこころ」という冊子があります。先ほどから議論しております奉仕の心や感謝の心、忍耐の心、わかりやすく書かれているんですね。こういうことを教材として使うことはできませんかね。これはわかりやすいです。「渡した」と呼ぶ者あり」渡しますわ。

◎教育長（上田貞夫） 先ほどから議員に何度も申し上げていますが、教材の開発は各学校、各先生に任せて、文科省の決められた範囲の中でやっていただきたいと考えております。

◆4 番（杉本延博） 水かけ論争になると思うんですけれども、基本は今も昔も変わらないんですね。本当に道徳教育、修身教育というのはタブー持つことななくしっかりと僕は教えていたきたいと思えます。これがしじめの撲滅、または道徳心の高揚にもつながっていくと思うんです。自分さえよければよい、そついう考えじゃなく、電車乗っても、お年寄りの方に席譲る。

御所市としても道徳教育最優先として、しっかりと教育委員会、そしてまた学校、地域と連携してやっていただきたいと思えます。

桜宮高校のぶいりが問題か？

M情報 増木重夫

先日、大阪市立桜宮高校のある生徒が自殺した。彼はバスケット部の主将で、自殺前に激しい体罰があったという。報道、各位のご意見で真相を探りたい。

※ 以下、太字が増木の意見

~~~~~

一定条件下の体罰は必要 殴るのにも技術がある 産経新聞 2013/01/27

【from Editor】

大阪市立桜宮高校のバスケットボール部の主将だった2年生が顧問教師の体罰後に自殺したことで、評論家やジャーナリストらの多くが体罰の全面禁止を主張している。大阪市の橋下徹市長も「あらゆる体罰禁止」を打ち出している。国も各自治体も体罰の実態調査に乗り出している。

生徒の自殺は痛ましい。顧問教師は、連日殴ったり、数十発殴ったり、唇を切ったり、「殴られてもええんやな」と発言していたという。これは明らかに教育の範囲を超えている。生徒はおびえ、教師と生徒の信頼関係は崩れていたと思えない。だから自殺してしまったのだろう。

こうした事件が起きると、「それでも体罰は必要だ」と言うには勇気がある。だが、私は、一定の条件下で体罰は必要だと言いたい。それはどのような条件か。

まず、対象を故意行為に限るべきだということ。故意行為とはわざと行うことである。サボる、ズルをする、卑怯(ひきょう)な行為をする。責任を転嫁する、違法、不法行為をする(など)である。みなが掃除をしているのにさぼったり、たばこをすったり、万引をしたり、といった行為に対して

体罰を行うことは意味がある。ねじれた心を正すためである。何度でも言う、「体罰」を定義せよ。「体罰」と「暴行」は違う。「体罰」は必要だ。「核」と同じ抑止だ。

~~~~~

「部活辞めると退学と一緒になんです」「誰も逆らえなかったんです」…桜宮高校バスケット部員を名乗るリアルすぎるツイートが話題に J-CASTニュース 1月26日(金)

桜宮高校バスケットボール部主将が顧問による体罰で自殺した問題で、同部の男子部員を名乗るツイートに高い関心が集まっている。

■「どこにも頼れない日々が続いた」

「大阪桜宮バスケット部員」というネームで、プロフィールは「真実を語ります」。この匿名のツイッターからの投稿は2013年1月15日から始まった。ちよつど、橋下徹・大阪市長が「受け入れ体制が整っていない」として桜宮高校体育学科の入試中止方針を初めて会見の場で明らかにした日のことだ。

「誰も逆らえなかったんです」「見せしめもありました」「竹刀を持って叩かれる部員もいた」自称・バスケット部員はこつづばやき、続いて体育学科ならではの特異な一面を明かす。

「体育科なので部活辞めると退学と一緒になんです。だから辞めれない休めない。辛い毎日」

顧問の体罰については「うちの母親が大阪の教育委員会に電話したことも

あった。けど教育委員会は原因を追求しますの…で終わったままだった。もつと早く対処してくれたら、キャプテン死ななかった。悔しいとしか言えない」と市教委の対応を批判する。

計「本が連投された1月16日に続いてのツイートは同日で、市教委が体育学科の入試中止を決めたことを受けて「入試中止は良かったと思います」と短くつぶった。

22日は「プライに答える形で、「橋本さんのおかげで助かっているところありますよ。実際に体罰なくなりました」「橋本さんのおかげで平和になりましたよ。毎日暴力の日々でしたから、暴力より恐怖のほうが優ってましたけどね」と、橋下大阪市長の姿勢を評価した。

この日はほかにも心情を吐露するツイートを投稿。

「暴力には耐えれます。けど恐怖だけは癒えません。本当に怖かったです。恐怖だけは未だに消えません。経験した人しかわからないと思います」「(略)毎日が辛かったです。精神論をいう問題ではない出来事が学校内で起こり、その学校側は黙認、大阪の教育委員会も黙認。どこにも頼ることもできない日々が続きました」と明かしている。

バスケット顧問の嘆願署名が校内で集めていることにも触れ、「何もわからずこいつた反抗が好きの人が書いてる。書いた人に意味わかってるの?と聞く」と分らず「面白から」と言われました」と記している。

普通科より偏差値高い体育科

桜宮バスケット部員を名乗る一連のツイートを巡って、ツイッターやちゃんねるには多くの意見が寄せられている。その内容の切実さから「なりすまし」による

真つ赤なウソとするコメントはほとんど見かけなかった。

「体育科なので部活辞めると退学と一緒になんです」とのつぶやきを巡っては、「私立ではスポーツ特待生がケガで競技が続けられなかったら退学するしかない。公立でも体育科なら同じような雰囲気なのは」「体育科の実態について報道機関にきちんと取材して欲しい」などのほか、「体育科に入るといことはそういうこと。入試のときに受験科目が少ない(11)中学時代勉強しなくて済む」んだから、甘ったれたこと言うな」といった意見もあった。

また、桜宮高校の所在地である大阪府都島区内の複数の進学塾にJ-CASTニュースが取材したところ、「桜宮の体育科は人気の高さから偏差値が普通科より1ランク高く、まさに学校の看板学科」

「大学進学率も体育科が高く、その条件は運動部での活躍」「体育科を志望する生徒には普通科とは違った覚悟のようなものが求められる」などの声も聞かえる。

一方、体育科では退部イコール退学―との自称・バスケット部員からのツイートに対し、大阪府教委は「体育科であつても部活は強制ではありませんし、転部することも可能。けがをした生徒の中にはマネジャーになる子もいるし、中退者だって非常に少ないんです」と話している。部活は強制ではなく、転部も可能…建前で物言つな。

~~~~~

「ええ加減にせえ はしもと、殺すぞ」「部落民がいきんな」 桜宮高校生徒がツイッターで暴言

2013/1/23 J-cast ニュース

入試中止が決まった大阪市立桜宮高校で、新たな問題が起きている。



同校の生徒と見られる人物が、ツイッターで橋下市長に対し「ええ加減にせえ」「部落民がいきんな」などと投稿していたことが明らかになったのだ。さらにこの人物を含む複数の生徒がツイッターで飲酒や喫煙を告白していたことも分かった。

さらにツイート内容から男子生徒と交際していると思われる桜宮高校の女子生徒のツイッターアカウントが割り出されたが、その生徒は二月八日と二十一日、こんなツイートを投稿していた。

「おい、おまえええ加減にせえよ おまえじゃはしもと、なんで●●（実名）らまで馬鹿にされなあかん、部落民がいきんなホンマ、殺意芽生えるわ。」（八日）「とりあえず、今思うことわこれだけ。あいつ、今日何しに学校きたん？ 教えて、ホンマ。いまならあいつのこと何にでも出来る誰しもが思うやろな、殺すぞて、あほちゃん、大の大人が、」（二十日）

橋下市長は二月二十日に桜宮高校を訪れた。名指しはされていないが下のツイートも橋下市長にあてたものとみられる。

このユーザーはほかに「いまから呑み」「今のうちにタバコ全部吸いきらな」など、飲酒と喫煙を匂わせるツイートもしており、ちちゃんねるで「酷すぎる…これが大阪か…」「触ったらいけないものにさわっちゃったね」「今まで橋下やりすぎかと思っただけこのツイート見て橋下が正しいと思うようになった」などと書き込まれている。「飲酒や部落差別が伝統なのか」生徒の会見にも批判。本人あてにも、「部落差別するとか、桜宮高校つんぬんの前に人間として最低だと思っただよね」「人間として終わってんだろこの女。橋本さんに殺人予告までしてるよ（原文ママ）」「やっぱり桜宮高は大阪の恥ですね。というか日本の恥では」など、野次馬から多数の

リプライが寄せられ、炎上状態となった。思わぬ騒ぎに驚いたのか、このユーザーは二月二十日午後三時三十分過ぎにツイートを非公開に。一三時前後にはアカウントを削除している。

しかし桜宮高校の生徒や関係者と思われる人物による、ツイッターでの問題発言は高校生にあるまじき行為の告白が山ほど投稿されている。

桜宮高校の生徒は二月二十一日に開いた記者会見で、「礼儀やマナーなど人として大切なことを学んできた。桜宮高の伝統は正しいと思っている」などと話していた。しかし一連のツイートで「伝統だから大丈夫 体罰も飲酒も喫煙も殺害予告も部落差別も全部伝統だから」「飲酒やら暴言が礼儀、マナーとして教えられているのか」といった皮肉まじりの批判も浴びせられている。

これが桜宮高校の実態です。地元では有名な底辺校であり素行問題校。今回の事件が無くとも存続を検討すべき高校でした。

「命の重みわかってるの？」……尾木ママ、桜宮高生徒による記者会見に憤慨 RBB TODAY 二月二十二日

「命の重みわかってるの？」……尾木ママ、桜宮高生徒による記者会見に憤慨

大阪市教育委員会が、体罰を受けた男子生徒が自殺した大阪市立桜宮高校の体育科の入試を中止すると決定したことを受け、決定に反対する同校の生徒が記者会見して入試の実施を訴えた。この生徒たちの行動について、「尾木ママ」こと教育評論家の尾木直樹氏憤慨している。

市教委の決定では今春の同校体育系

学科の募集を中止し、普通科として募集するとした。この市教委の決定をめぐり、同校で運動部キャプテンを務める在校生数名が二十日に記者会見を開き、決定を批判したことを複数メディアが報じた。尾木氏は二十日に更新した自身の公式ブログでこの件について言及。「なぜ記者会見なの？」「遺族の心情考えているの？」「命の重みわかってるの？」と憤慨するとともに、「誰が仕組んだのかしら？」と、生徒以外の何者かの入れ知恵である可能性についても触れ、「やらせるなら生徒会でしょう。なぜ部活の部長？ 出てくるべきは学校、顧問、教師でしょう！」「と怒りをあらわにした。

「モーニングバード」で朝日二月八日「……尾木直樹氏は「確かに入試がなくなるのはビックリすることですが、人の命がなくなったこと、それを全部の教師が見過していったこと、その意味をどう考えるんですか」と問題提起した全く同感！ この種の人（尾木ママ）と意見が合ったのは生まれて初めて

田沼ニユース 第一〇七号 E25.1.21 衆議院議員 田沼隆志

やはり教育委員会に問題あり！ 大阪市の桜宮高校で、部活動の顧問から体罰を受け、高校生が自殺するという事件がおきました。現場の教員に責任があるのはもちろんのこと、教育委員会の対応にも大きな問題があります。

今回の事件が起こる以前から、教育委員会は、顧問教員の体罰の事実を把握していました。しかし、対応が不十分で、生徒が亡くなってからようやく本格的に動き出す始末。

昨年発覚した、滋賀県大津市のいじめ自殺事件でも同様でした。教育委員会が

事実を隠ぺいし、生徒が亡くなったことが明るみにでてから本格的に動き始めた。人が亡くなって初めて動き出すなど、まともな組織とは到底考えられません。橋下大阪市長は、今年度の入試を中止すべきと発言し、改善を強く迫っています。市長の対応には、賛否あると思います。しかし、重要なことは、ここで大胆な手を打たなければ、教育委員会はほとぼりが冷めるのを待って何も手を打たないということです。橋下市長は教育委員会の事なかれ主義とずっと戦ってきた。だからこそその発言だとご理解ください。

教育委員会というのは、責任があいまいな組織です。問題が起きても隠そうとする。問題が明らかになっても誰も責任をとらない。私がここで力説するまでもなく、これまでの事実をご覧いただければ明白だと思います。このような組織に子供達の教育を任せることはできません！ 日本維新の会は教育委員会制度の廃止を訴え、国会で改善を求めています。

運動部が勝つ。そこから治外法権が始まり、それが全校に広まっている。

「愛国無罪」ならぬ「常勝治外法権」になっている。だから一旦根を立たないといけない。それが市長のお考えだ。

この顧問は十八年間桜宮に居座ったという。組合の支援が無ければ不可能だ。だから教委が毅然とできないのだろう。

橋下市長の主張は、とにかく6人（顧問校長、教委担当者）、下世話な責任（辞表）でいいから責任を取れ。と言うことだと思えます。

桜宮高校とかけてまして、ボーイング787と解きます。心は、徹底的改良ができるまで再離陸はありえない。彼は選挙も覚悟したという。橋下をご支援ください。

自称、日本一の橋下評論家 増木

## 桜宮高校体罰事件、各位からの意見

東京 田口 圭

世間を騒がせている桜宮高校事件ですが、全生徒が部活動加入が義務だったというところ。よく愛知県などの管理教育県でありがちな制度だと思っています。

ちなみに、偏差値を見ると普通科49で体育科55ということ。まあ、税金で偏差値50未満の高校を運営する意義って何でしょうね？よく教職員組合が「30人学級の確保を」などと言っていますが、雇用確保が目的なのがバレバレ。

私は、低偏差値の学生については中学卒業から労働できるというのが望ましいと思っています。また麻生太郎元総理も「義務教育は小学校までいい」とも。

たしかに、高校進学が一般化しているという現実があります。先日、スーパの求人がチラシに書いてあって、みると「高卒以上」とのこと。その一方でマクドナルドは高校生歓迎とのこと。

あの年代って、自分で金を稼ぐことに憧れるものだから、勉強できないのであれば15歳からでも働かせてやったほうがいいと思います。求人を高卒以上に行っているスーパに、コンビニには中国人留学生が多数働いているという現実、本末転倒だと思います。そもそも、マクドナルドでレジを打つと、スーパでレジを打つと、同じような内容だと思っていますけどね。

この自殺した少年は部活動を張り切っていたそうですが、放課後は、勉強するかアルバイトするかすれば、得るものはもっと大きかったんじゃないかと思っています。……大学の数は減らすべき、また高校の数も減らすべきだと思います。それで浮いた予算を軍事費に回すべきです。

部活動で集団生活が学べるのか言うが、じゃあ自衛隊に体験入隊を制度化すればいいだけのハナシ。

「大学、高校の数も減らすべき」と思いますが、それで浮いた予算を軍事費に回すべき……全く同感。情性、慣性で行っている生徒を国費で遊ばす必要は全くない。土建屋で働き、怖いおっちゃんにしていってもらったほうが余程役に立つ。ついでに言う、君には夢がある。将来はプロ野球かオリンピックだ。がんばれ！などと学校の先生が言う。ウソ付け。プロ野球かオリンピックにそうそういけるか。各中学校で数人プロ野球かオリンピックに行っているならこの夢の話もありえる。しかし普通の学校でプロ野球かオリンピック選手が輩出する確立など0に近い。

あくまで趣味の範疇。極論だが、ペテン師みたいな夢物語ではなく現実を教えるべきだ。

もうひとつついでに言う「体罰」と「暴行」の区別がつかず。どちらも外形的には同じです。問題は目的が違う。相手（生徒）のためを思っている有形力の行使が体罰。己の都合（名誉欲、感情発散等）の有形力の行使が暴行。

相手（生徒）のためか、己の都合かは有形力を受けたほうは自然と感じるものです。これは戸塚校長の受け売りです……が真理だと思っています。

私などしょっちゅう、生徒（のケツ）をひっぱたいていますが、親は喜んでいきます。体罰は特に「事後フォロ」がもつとも大事で、「フォロ」しなければいけないから「フォロ」するのでは何の意味もなく、子供のことを思っていれば自然と「フォロ」ができています。うちの塾では私が生徒に厳しく接し

たら、嫁さんがその生徒の家に電話を入れた事情を説明し、そして生徒にお説教している。「あんたが悪いんだよ！」別に打ち合わせてやっているわけではないが。今回の場合は体罰ではなく、明らかに暴行。今回の件で体罰禁止に拍車がかかるのを心配しています。ワルガキが先生をなめきり生徒の構内非行、暴力がエスカレート。体罰禁止を言うなら、同時に生徒の先生に對する奉公は、即110番。でないで教育現場がむちゃくちゃになっちゃいます。

桑田真澄さん 体罰では強くない、1月12日 18時4分 産経

大阪の市立高校でバスケットボール部の顧問の教師から体罰を受けていた男子生徒が自殺した問題について、元プロ野球選手の桑田真澄さんがインタビューに応じ、「体罰は勉強不足による安易な指導方法で決して強くない」としたうえで、「スポーツに携わる人全員で議論して、時代に合った指導方法に変えていくべきだ」と訴えました。

バカなこと言うな。桑田真澄はいつから文化人だ。もちろん体罰の定義にもよるが、プロ野球を極めたような人と、その辺の高校野球とどうして同じテーブルで論じられるの。「亡くなってお気の毒」と言う話と、体罰の是非は別問題。

長野県 Y・Kさん

桑田氏は文化人ではないから意見を述べてはいけないうにとれますが、体罰はこの法治国家の日本では、禁じられています。ここところだけは勘違いしないで下さい！「愛のムチ」だけです！打っていいのは、愛の無いムチを体罰というんじゃないませんか？

「桑田氏は文化人ではないから意見を言うな」意見を言うなと言っています。文化人だから「常識的なことしか言えない。」と言う意味です。彼が「体罰は必要。」などといったら、もう二度とくに出れなくなるじゃないですか。だから彼の意見を聞いても意味が無い。

「体罰はこの法治国家の日本では、禁じられています。」……確か11条でしたか、そこに問題がある。と言ってるんです。「愛のムチ」って何ですか。定義をきちっとしてください。定義のない言葉で議論しても言葉遊びになるだけです。「愛」って何ですか。

愛の鞭であろうが、体罰であろうが、暴行であろうが、外形的にはどこが違うんですか。愛の無いムチを体罰と言うなら、体罰と暴行はどこが違うんですか。

私は学習塾40年。教えた生徒は1万人を超えていると思いますが、ふざけて生徒の尻を引っぱたくのはよくありますが、本当に怒ったときは生徒の目の前の机を思いっきりたたきます。

「フザケルナ！」って。手が腫れるほど痛い。もちろん体罰など良いも悪いも当然肯定。しかし40年間で生徒を殴ったことは1回もありません。

要は、体罰を否定するから生徒に舐められ、体罰を使わなければならないような状況になり、体罰を肯定すれば、先生生徒間に緊張感が生まれ、体罰を使う必要性が生じないのです。乱暴な言い方ですが、「核の抑止」と同じです。

新しい生徒が入ってきます。はじめ1、2回は緊張していますが、彼らは学校の習慣で先生を舐めきっています。1週間2週間たつにつれ教室で調子に乗ってふざけ始める。私は知らん顔。そうすると周囲の生徒がその新入生に塾での作法を

教え始めます。「いい加減にしとかな、ポチボチヤバイゾー」って。賢い生徒ほど、「こは学校とは違うな。」とピンとくる。オツムの回転が遅い生徒ほど最後（怒鳴られる）までふざけています。教育現場は、文化人のきれいいことでは運営できません。~~~~~

神奈川 I・Y

「教育現場は、文化人のきれいいことでは運営できません。 増木」

全くその通りです。私も教育現場を職場とさせて頂いておりますが私の学生は日本人ではありません。主に中国人学生です。彼らは日本人以上に教師をなめきっています。（小皇帝と言われる子供が育っている一人っ子政策の見事な結果が裏）

彼らに言わせると日本は殺人と泥棒以外何をして良い自由な国だそうなんです。教室の授業風景をビデオで撮って一般公開したら大学の授業料35%減免なんて即ストップという法案が通りそうです。これが現実です。

「本当に怒ったときは生徒の目の前の机を思いっきりたたきます。『フザケルナ！』って。手が腫れるほど痛い。」同じような事を年に一回くらい私もします。叱られた経験のないと思ひ彼らは一瞬びくります。戦いだと思ひ時さえあります。私はこの手の事件が起きるたびに今の時点で言っただけいけない事かと思ひます。が親は命がけて子供を守ったのだらうか、という疑問です。

体罰とイジメ、話がこっちゃになっていきますが・・まあ、同じようなものだから。学校は多少の凸凹はあるものの「教育」ではなく「調教」の世界です。調教によって、サルから人にするのが教育。これが現実です。本来は学校に上がる前に家庭で「人」にして、学校に送って欲しいので

すが、そうでないのが大勢います。

中国人は（品良く言えば）野生的だから（はっきり言えば「野蠻」）・・・というより、根底には中華思想があるのでしょうが、大変なのはお察しします。日本の子供が多少マシかもしれません。

が、それは教師の神経すり減らしの代償です。本来は親の仕事。その尻拭きをしているわけです。親なら子供のお尻を引っぱたくのは当たり前。その代行業を学校の先生がやっているわけです。

先日の大津のときもそうでしたが、今回も親です。親は命がけで、相手のの下を食いちぎってでも子供を守ったのだらうかと思ひます。

今回、この親が「有形力の行使を」を理由に顧問達を告訴したということは、「体罰（暴行）」があったことは知っていたわけだから、もっと早い時期にクラブを止めさせればよかった。もっと言えば、学校を辞めさせればよかった。亡くすよりマシだと思ひます。

「子供の自主性を尊重し・・・クラブがしたいならやりたいように。」などと馬鹿なことを言った結果がこれです。この少年は「クラブをしたいという自由」を主張した。それならそこで生じるさまざまなトラブルは自分で背負い解決しなければならぬ。もちろん今回は自分で解決するには荷が重すぎたわけですが。先ず、親が早い時点で「これはおかしい」とピンと来るべきです。

「子供の自主性」などという言葉に騙され「親の義務」を忘れていませんか。とにかくきれいで評論家気取りの連中にムカムカします。現場へ降りて来い。桑田氏に言いたい。私はスポーツは一切評論はしない。だからお前は教育評論をするな。と。そしてY・Kさんには「愛」

がどうのこうの。「何じゃそれ？」「愛」などと実体のない言葉で本質をウヤムヤにして欲しくないと思ひます。~~~~~

鳥取県 熊坂雄一郎

自殺した生徒は、バスケット部の主将として不適合であったようだ。チームはまとまりを欠き、ほかの生徒からも交代を望む声が上がっていたという。そこで顧問が交代を勧告したが、彼は継続を選んだそう。それは主将にいと大学進学に有利なためである。そういう状況で顧問が彼にことさらつらくあつたことは想像に難くない。だが明らかに行き過ぎであった。糾弾されても仕方が無い。しかし、生徒もあまりに身勝手でないか。学力の成績は極めて優秀であつたという生徒の身勝手さに親から反省の言葉が無いことに釈然としない気持ちが残る。

桑田真澄氏は殴られても「愛」を感じなかったという。しかし「愛」の存在の有無を教育の尺度としたら、一体どのくらいの教師が該当するだろう。桑田氏は文化人であると言つ増木さんの指摘はその通りである。私は桑田氏の個人的な体験として受け取らない。

今度の事件によって「体罰は絶対悪」という風潮が出来るのを憂慮する。~~~~~

東京 落合道夫

1. 事実と結論  
運動部の顧問の暴行で生徒が自殺した。これは前途ある日本の少年を殺したのだから、無条件で否定され関係者は処罰を受けるべきである。

2. 混乱と目的論・

しかし論議があるのは、問題の本質を取り違えていることである。これは教育方法としての体罰論ではない。目的論だ。戸塚先

生が教育の方法論としての体罰の必要性を論じるのは正しい。人間は理性の動物ではないから体罰は有効なのだ。しかし何のための体罰かで評価は変わる。

3. 運動部関係者の動機は私利私欲・スポーツは所詮気晴らしである。遊びだ。国防のような公の目的に仕えるものではない。だから監督が熱心なのも結局自分の損得である。私利私欲なのだ。

4. 大人と子供・スポーツの動機が私利私欲でもよいが、訓練を受ける側が判断力のない子供であることである。これが問題だ。

やめる方法がわからないので自殺したのである。遊びなのだから退部する方法を教えておくべきだった。

5. 対策

1. 事件の本質・

監督は私利私欲のために子供を訓練している。それに動物的な権威欲、支配欲が暴走する。病的加虐趣味が加われば最悪。

2. 監視・

したがって、運動部や全寮制の学校には社会の監視が必要である。

具体的には、警察の少年課だ。これで監督が全能幻想から覚めて正気に返る。

3. 体罰・

♪口で言うより手の方が早い♪と歌にあるが、これも正しい。ただし殺せとはいってない。すべておのずから限度がある。

4. やめる知恵・

また子供たちにはいつでも運動部や学校をやめてよいと親は話しておくことだ。死なれてしまえばまったく取り返しがつかないからだ。

一昔前は、塾やクラブを途中で止めるのは「ケツを割った」と、犯罪のように言われました。しかし、今はそんな呑気なことは言てられないようです。



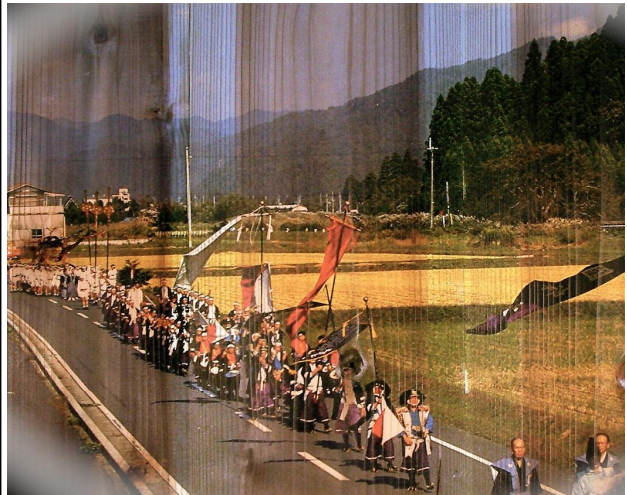
京都北山細野の神主 中村重行

「モンベル京都駅前店」サロン

期間 3月23日(土)～4月7日(日)

「京都北山展」とは・・・私が北山山  
中に移り住んで30年余りが経ちました。  
40歳で母校の山岳部の海外合宿の隊長  
としてカナディアンロッキーに行った時  
に丸太小屋の魅力に取り付かれました。  
元々は京都市内に住んでいましたが市内  
から約一時間、25キロほど離れたこの  
北山山中に丸太小屋ではありませんがア  
ーチハウスを建てて移り住みました。

京都と言えば神社仏閣清水焼や西陣織など市内観光ばかりが取り上げられていますが、本当は私が住んでいる京都市北山



がすばらしい。丹波高原と言われて京都の北に広がる丘陵地帯です。

自然と人間が作り出した

自然と人間が作り出した床柱の北山杉で有名にはなりましたが四季を通じて自然の移り変わりの素敵なところで、この京都北山を全国の多くの人達に知ってもらおうと、「北山の良さを全国に」というキャッチフレーズで写真絵画展を思いつきました。写真や絵画はいろいろな方達にお願いして出展してもらうつもりでした。が、ただの写真では面白くない・・。たまたま知人に、木に写真などをプリントして製品にしている人がおり、この技術で北山杉の板に写真を写してもらい、この写真を北山の紹介に利用しようと思ったのです。印刷紙が北山杉なのです。

▶3版の大きさの写真を30枚ほど展示する予定で写真を集め始めています。

「これぞ、北山」という写真をお持ちの方はご提供ください。北山杉にプリントして展示したいと思います。

ブロック「京都北山細野の神主」にのせているのはサンプルを私がデジカメで撮ったものできれいに見えていませんが本物は味があつてなかなか良いモノです（自画自賛？）ぜひお出でになつて下さい。

今回は第一回「京都北山展」です。毎年春には恒例で催したい、皆さんで広げて行ってもらえればと考えています。

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪  
なお、この道楽宮司は2月7～9日と  
ハケ岳に登るといふ。この企画は山から  
無事帰ってきた場合の話である。増木

各位の記事を頁割し、当てはめてい

く。もちろん文字数を指定して頼んだ原稿ではない。日々、メールで頂いたご意見をためておき、紹介している。だからぴたっと合うわけではない。ところが「新聞」の形態を取っているので空欄がある

【(一)支援等の口座】  
郵便振替 00680 8 2451647 MASUK情報デスク  
三菱東京UFJ銀行千田中央店004349 普通 増本重夫

とまずい。そこで行あわせ、文字あわせをやる。重複している単語をまとめたり、漢字にして文字数を減らしたり、ひらがなにして増やしたり。改行したり縮めたり。寄稿者の意図が変わらないように最新の注意を払う。

こういうことですから少々の元原稿の修正は「勘弁を！」

増木

增本

先ずは、平素より私どもの活動に力強いご支援を賜り心から御礼申し上げます。このレポートにもありますように、私どもは子供達に誇りある国を残すため、日々命がけで戦っています。ところが問題は活動資金。今まで以上にがんばります。何卒資金のご協力を伏してお願ひ申し上げます。

この、M情報機関紙は新聞の形態をとっていますが、「活動の報告書」です。特に「購読料」は設定していません。カンパをよろしく願います。

○カンパ金の主な使途は下記団体の、

- ・活動の資料等の発送費・道路、公園

原稿・同封資料の募集について

弊会『M情報活動報告』は、現在のとこ  
ろ毎月月初めに全国約5千（目標1万）部  
発送しております。掲載ご希望の論文、情  
報等ございましたらどんどん表記事務所

諸情報のメール配信について

弊『M情報』では、日々、全国各地の仲間から、または情報収集の専門家から情報が入ってきます。それをメールで転送します。内容はどこよりも詳しく多種多様。「量が多過ぎ」とお叱りを受けるのですが、

○ M情報が運営を行っている主な団体  
・救う会大阪 ・NO！ 民主「桜組  
・靖国神社に眠る御霊に感謝する会  
・米国に原爆投下謝罪を求める会  
・大阪の公教育を考える会  
・スパイ防止法の制定を求める会  
・外国人参政権に反対する会・関西  
・日教組の違法行為を追及する市民の会  
・竹島を奪還する会・関西  
・改憲祈念の会

◇ 前記口座、または同封の郵便振替にてご協力ください。

の募集について

までお送りください。また、弊紙は郵メ  
ールで発送しています。重さ制限は50  
gです。まだ余裕がございますので、資  
料等の同封が可能です。ご相談ください。

試しに一度受信してみてください。ご不要でしたら即停止いたします。要領は次のアドレスに「メール希望」と空メールを（発信名義「NPO 法人百人の会」）。

h100prs@oregano.ocn.ne.jp